

未来は自分の中に

校長 矢野 尊久



暖かな春の日差しの中で、124名の新1年生を迎え、11学級で新しい年度が始まりました。

生徒たちは新しい担任や新しい学級となり、心配や不安もある半面、これから新しい学年でこんなことを頑張りたいとか、挑戦してみたいとこれから先のことについて考えを巡らしています。ちょうど学級では個人目標を立てていますが、目標は立てても、いざどうするかという具体的な方法はなかなか難しいものです。しかし、これからの先のことを考える、将来について考えるということのヒントは、自分自身の中にあります。立ち止まって今の自分、あるいはここまで歩んで来た自分を見つめるのです。自分を見つめることで、自分は何ができて、何が不得意なのか、だからどうすればいいのかということが見えてきます。そうすることで、自分の目標ややり方が見えてきます。明日の自分、半年後の自分、更に先の自分がやるべきことが分かるのです。つまり、未来は遙か向こうからやってくるのではなく、自分自身の中にあるのです。

始業式に生徒たちに話をしたのは、常に何かを取り組んだ際に、勉強でも諸活動でもどんなことに対しても時々立ち止まって取り組んだ内容、過程を振り返ってほしいということです。この時、否定的に自分を捉えないで「ここはできた、ここはうまくできたから、こうすればもっと良くなる」と肯定的で前向きな気持ちで振り返ってほしいことを伝えました。できなかった点ばかり考えてもしょうがないことです。また、振り返りの基本は次につなげて前に進むためのもので、後ろをばかりを見ていては前に進めません。自分はだめだというマイナス思考も自己否定にもつながりかねません。なにより自分を否定することは自分の未来をも否定することです。

一区切りしたとき、勉強、行事でも様々な取組でやったことに対して振り返り、上手くいったときもいかなかったときも振り返る。上手くいったときのことを振り返っておくと上手くいかなかったときの解決策が必ず見つかります。「振り返って次につなげる」これはとても勇気のいる主体的な行為です。しかし、この主体性を大切にして習慣にしていくことで自分の可能性を大きく伸ばすことができるのです。視野を広くして自分の周囲や生活そのものに目を向けて振り返ることができれば、自分と社会や集団とのつながりも強くなるはずです。生徒たちには勇気を出して、積極的に足跡を見つめ、自分自身の可能性に気が付いてほしいと願っています。

平成30年度も教職員一同、全力で取り組んで参りますのでどうかご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

明保中学校ではホームページを毎日更新しています。ぜひご覧ください。

◇4月と5月の主な予定◇ 予定の変更は担任等から連絡いたします。

月	日	曜	内 容	月	日	曜	内 容
4月	11	水	創立40周年記念撮影	4	24	火	心臓検診(1年生)
	12	木	新入生歓迎オリエンテーション 創立40周年記念撮影	月	26	木	歯科検診(1年、2A)
	13	金	保護者会(全学年)		27	金	離任式
	16	月	正規時間割開始 委員認証式	5月	2	水	教師と保護者の会総会 部活動説明会
	17	火	全国学力学習状況調査(3年生)		5	火	内科検診(2年生)
	18	水	耳鼻科検査 一斉委員会		7	木	内科検診(3年生)
	19	木	歯科検診(3年、2AB) 教師と保護者の会		8	金	スポーツテスト
	21	土	土曜授業参観 セーフティ教室 引き取り訓練		11	月	ふれあい月間開始 15日金まで
	23	月	眼科検診				

平成30年度学校経営方針

- ・落ち着いた教育環境の中で、一人ひとりの個性や能力を伸ばすことができる学校
 - ・相互に人権を尊重し、支え合う生徒、人に優しい生徒、主体的に学び、活動に取り組む生徒、自ら考え判断、表現し、メタ認知(振り返り)ができる生徒、目標をもち、取り組むことで達成感を感じられる生徒、自信のもてる生徒
 - ・深い愛情をもって生徒の良き「聴き手」となり、支援する教師、一人の人間として一人ひとりの大切さを強く自覚して指導する教師、生徒の実態を把握して、「目指す生徒像」に向けて主体的に経営に参画する教師、高い専門性を持ち、創意工夫に満ちた分かりやすい授業に努める教師
- 1 RPDCAサイクルによるマネジメントを重視する。
 - 2 全ての生徒の学ぶ意欲を高め、学力の向上を図る。
 - 3 生徒理解を基盤にした学級・学年経営の一層の充実を図る。
 - 4 言葉づかい、身だしなみ、環境をきれいにする。
 - 5 体育・健康に関する指導の充実を図る。
 - 6 安全管理、安全指導の徹底を図る。
 - 7 服務の厳正の徹底を図る。

